

## 2

## I am ~ . / You are ~ .

## 1 I am ~ . の文 / You are ~ . の文

## 基本例文

- |                          |             |
|--------------------------|-------------|
| ① _____ Keiko Tanaka.    | 私は田中けい子です。  |
| ② _____ from Japan.      | 私は日本出身です。   |
| ③ _____ a teacher.       | あなたは先生です。   |
| ④ _____ from Japan, too. | あなたも日本出身です。 |

## ポイント整理

- ① **I am ~ . の文** 自分のことを指して「私は～です。」と言うとき、**I** \_\_\_\_\_ ~ . を用いる。Iは「私は」という意味で、文中でも大文字で書く。I am の短縮形は I'm。このとき使う(')をアポストロフィーという。
- ② **You are ~ . の文** 相手のことを指して「あなたは～です。」と言うとき、**You** \_\_\_\_\_ ~ . を用いる。youは「あなたは」という意味。You are の短縮形は You're。
- ③ **英語の語順** 日本語と英文では、語の並べ方がちがう。英文は〈主語＋動詞〉の語順。  
 (英語) I am a teacher. ※ am と are をまとめて be 動詞という。am, are の意味は同じ。  
 (日本語) 私は 先生 です。  
 「私は～です。」「あなたは～です。」などと言うときの、「～です」という意味を表す動詞を **be 動詞** という。主語が I のときは **am**, you のときは **are** のように、be 動詞は主語によって決まる。
- ④ **英文の書き方**
- ・文の最初は大文字で書き始め、文の終わりにはピリオド(.)をつける。
  - ・単語と単語の間は少しあけて書く。
  - ・人の名前・地名・国名などは、文の途中でも大文字で書き始める。
- ⑤ **from** 「～出身です」と出身を言うとき、〈be 動詞＋ \_\_\_\_\_ ＋国・地名〉を用いる。
- ⑥ **too** 前の文を受けて、「 \_\_\_\_\_ 」と言うときに用いる。

## 確認問題

1 次の日本語の意味を表す英文になるように、 \_\_\_\_\_ に適当な語を書きなさい。

□(1) 私は久美です。 \_\_\_\_\_ am Kumi.

□(2) 私はシンガポール出身です。 \_\_\_\_\_ from Singapore.

□(3) あなたはマイクです。 \_\_\_\_\_ are Mike.

□(4) あなたも高校生です。 \_\_\_\_\_ a high school student, \_\_\_\_\_ .

2 次の英文の下線部に短縮形を用いて、全文を書きなさい。

□(1) I am Emi.

□(2) You are from Canada.

## ● 単語・語句 ●

Singapore : シンガポール      high school student : 高校生



